

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	4	学校名	仙台市立南材木町小学校	校長名	佐々木 康之
------	---	-----	-------------	-----	--------

1 取組のタイトル, テーマ
自然と触れ合い, 学ぶ



2 取組の紹介

環境に対する豊かな感受性を育てるために、自然や社会に触れる機会を多く持たせ、意欲的に取り組めるように活動や体験を重視しています。

町場の学校に緑を増やして「森」を作り、鳥や虫たちの集まる場所にしようという目標を設定し、1年生から4年生までが「学校の森活動」に取り組みました。この活動は本校で長く続いており、今年度も外部からの講師として、宮城県森林インストラクター協会の方々をお招きし、多くの体験活動をしました。

また、5年生の「川に学ぼう」の学習では広瀬川に入り、生き物を探したり観察したりする活動を行い、広瀬川についての調べ学習につながる体験をしました。この活動でも、杜々かんきょうレスキュー隊事業の外部講師をお招きし、体験活動をしました。

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

【1・2年】

○虫取りの網を使って校庭や学校の畑で虫を探して捕まえたり、観察をしたりしました。森林インストラクターが持ってきたカニやカブトムシの観察をし、生き物に興味・関心を持つ児童が増えました。

【3年】

○学校の周りを観察し、虫やいろいろな生き物探しをしました。森林インストラクターさんには、虫が生息している場所や捕まえ方を詳しく教えてもらいました。

【4年】

○校外学習で県民の森に出かけてきました。山道の補修や登山、ネイチャークラフトなどに取り組み、自然を大切にすることやその楽しさを学ぶことができました。

【5年生】

○学校の近くを流れる広瀬川について調べ学習をしました。「川で遊ぼう」では、実際に川の中に入り、生き物を見つけたり川の流れについて観察したりすることで、自然への興味・関心を高めることができました。「川に学ぼう」では、広瀬川に生息する生き物の特徴を学びました。外部講師の先生から多くのことを学べるよい機会となりました。「海に学ぼう」では、荒浜で植樹活動や海岸のごみ拾いをし、環境を守る意識を高めることができました。

【創立150周年記念ビオトープ】

本校は昨年度に創立150周年を迎え、記念として今年度に「南材コミュニティビオトープ」を新設しました。この企画は、地域の方や卒業生が長年親しんできた「南材の池」をもう一度作ろうという試みで始まりました。8月に完成したビオトープは本校児童だけでなく、地域の方や近隣の幼稚園、保育園の園児も親しめるような地域の憩いの場となりました。

本校の児童は休み時間や生活科、理科の学習でメダカやドジョウをはじめとした魚、水生植物などの観察をして自然と深く関わり合うことができました。

今後も、これらの活動を行うことで、自然や生き物に親しみ、自然を大切にする気持ちを育てていきたいと思えます。

